8　芸術（書道）

| 学校番号 | ３０６ |
|---|---|

# 平成３１年度　芸術科（書道）

| 教科 | 芸術 | 科目 | 書道Ⅱ | 単位数 | ２単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「　書道Ⅱ　」　（東京書籍） | | | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年の授業で学んだ基礎を発展させて、表現の違い等を学びましょう。
・様々な書体を学び、確かな技術を身につける。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

## 2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通じて、書を愛好する心情を育てると共に、感性を高め、書の文化や伝統についての理解を深め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばす

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:書への関心・意欲・態度 | b:書表現の構想と工夫 | c:創造的な書表現の技能 | d:鑑賞の能力 |
|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。 | 書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 | 創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。 | 日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。 |
| 評価方法 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>個人評価表 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>個人評価表<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>個人評価表<br>提出作品 | 観察<br>レポート<br>ワークシート<br>個人評価表<br>提出作品 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | | |
| 1学期 | 仮名の学習 | ・1年次の復習<br>・連綿<br>・作品 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:仮名のリズムをつかんで連綿を書こうとしている。<br>b:基本用筆のリズムを生かして構成の美しさとらえ、余白を生かしながら表現している。<br>c:確かな技を使い、自分らしい表現をしている。<br>d:基本用筆の特徴、連綿と散らし書きを理解している。 | 観察<br>ワークシート<br>個人評価表<br>提出作品 |
| | 楷書の学習 | ・「永字八法」<br>・背勢と向勢<br>・唐代楷書 | ○ | | ○ | | a:用筆や運筆の違いに関心を持ち、「起筆」「送筆」「収筆」を楷書を通して理解している。<br>b:用筆や運筆の違いを理解し、工夫している。<br>c:基本点画や用筆の基礎を表現することができる。<br>d:用筆や運筆の違いによる表現の違いを理解している。 | 観察<br>ワークシート<br>個人評価表<br>提出作品 |
| 2学期 | 半紙コンクール作品 | ・様々な楷書<br>「九成宮醴泉銘」<br>「孔子廟堂碑」<br>「雁塔聖教序」など<br>・様々な行書<br>「蘭亭序」<br>「集字聖教序」など | ○ | ○ | ○ | ○ | a:様々な楷書と行書を鑑賞し、書風の違いについて関心を持ち、理解しようとしている。<br>b:各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現を工夫している。<br>c:各古典の字形や用筆などの特徴をつかみ、書風を生かした表現をすることができる。<br>d:古典の書美を理解し、表現技法を理解している。 | 観察<br>ワークシート<br>個人評価表<br>提出作品 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 篆書の学習 | ・篆書の基本<br>・小篆、甲骨文、金文<br>・清代の篆書 | ○ | | ○ | ○ | a:篆書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。<br>b:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。<br>c:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。<br>d:様々な篆書の書風の違いや、字形・用筆の特徴を理解している。 | 観察<br>ワークシート<br>個人評価表<br>提出作品 |
| | 隷書の学習 | ・隷書の基本<br>・曹全碑<br>・清代の隷書 | ○ | | ○ | ○ | a:隷書に関心を持ち、様々な古典の書風の特徴を理解しようとしている。<br>b:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現を工夫している。<br>c:各古典の字形や用筆などの特徴をとらえ、書風を生かした表現をすることができる。<br>d:様々な隷書の書風の違いや、字形・用筆の特徴を理解している。 | 観察<br>ワークシート<br>個人評価表<br>提出作品 |
| | 壁書 | ・篆隷の文字で壁書 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:古代文字に関心を持ち、その書体を使って壁書の表現に生かそうとしている。<br>b:筆ではないもので書を表現することに工夫している。<br>c:粘土の感触を生かして、指やへらで文字の造形を表現することができる。<br>d:作品のもつ素朴さを互いに鑑賞し合い、味わうことができる。 | 観察<br>ワークシート<br>個人評価表<br>提出作品 |

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 3学期 | 漢字かな交じりの書 | ・古典をいかした芸術的な表現<br>・メッセージボードの制作 | ○ | ○ | | ○ | a:書が思いを伝えることに関心を持って、意欲的に取り組んでいる。<br>b:感興や意図に応じた表現を構想し、工夫している。<br>c:感興や意図に応じた表現を構想し、工夫して表現している。<br>d:書が思いを伝えることができることを理解している。 | 観察<br>ワークシート<br>個人評価表<br>提出作品 |
| | 書道パフォーマンス | ・グループによるパフォーマンス表現<br>・相互鑑賞会 | ○ | ○ | ○ | ○ | a:パフォーマンスの書表現がメッセージになることに意欲的に取り組み、表現の構想から完成に到るまでの充実感や達成感を味わおうとしている。<br>b:メッセージの作文・バックミュージックの選曲・書く担当・表現の仕方を構想し、工夫している。<br>c:メッセージを書道パフォーマンスとして表現するための技能を身に付け、協力し合い、創造的に表現している。<br>d:書表現が、グループによる書道パフォーマンスによってより一層思いを多数の他者に伝えられることを理解し、味わっている。 | 観察<br>ワークシート<br>個人評価表<br>提出作品 |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。